

令和7年度 学校推薦型 本試験問題

アドミッションポリシーとの関連

作題意図・採点基準・模範解答例

問題1 アドミッションポリシーとの関連

1. 専門職に関心を持ち、必要な科学的知識・技術の習得および探求に意欲のある者
- ② 高い専門的知識・技能の習得に必要な基礎的学力を備えている者
3. 他者とよい人間関係を作るためのコミュニケーション能力を備えている者
- ④ 常に社会の変化に関心を持ち、専門職として社会に貢献する意欲のある者
5. 多様な価値観を尊重できる者
- ⑥ 論理的に思考し表現・行動できる者

作題意図

近年の高齢社会と医療関連職の人手不足を背景としたロボット技術導入に関する考えを問うことで、日々変化する技術・サービスなどの社会変化への関心と社会貢献への意欲を評価する。また、物事を多角的に分析する能力や、分野特性や倫理的配慮を考慮した保健医療の専門職としての問題解決能力と周辺知識の基礎的学力を問う。さらに、出題内容の理解から自身の主張を展開するにあたっての論理的思考と記述力を問う。

着眼点

- 1) 社会問題の認識と解決が意識されているか。
- 2) 物事を多角的に捉えているか。
- 3) 具体性と根拠性のある情報に基づいているか。
- 4) 分野特性や倫理的配慮が考慮されているか。
- 5) 自分の考えを論理的に記述することができるか。

採点基準 100点

- 1) 論理性：30点
- 2) 内容の充実度：30点
- 3) 文章表現：15点
- 4) 文字数：15点
- 5) 課題の理解と適合性：10点

*詳細はルーブリックを参照

模範解答例

医療・介護分野における「ロボット」と「人」によるサービス提供の今後のあり方として、両者の長所を活かした協働体制の構築が重要と考える。ロボットのメリットは、持続的かつ高精度な作業遂行能力である。夜間の見回りや定期的な体調確認などの反復業務を担い、人手不足の解消と医療従事者の負担軽減に貢献する。また、大量データの正確かつ迅速な処理も可能である。デメリットは、高額な導入コストと機械的対応による患者の心理的ニーズへの対応不足である。

人間の強みは、柔軟な対応力と共感的な対話能力にある。患者の微細な表情変化を察知し、適切な心理的サポートを提供できる点は、現状のロボット技術では難しい。一方、疲労による判断ミスや個人の能力差によるサービス品質のばらつきが短所である。

今後は、両者の長所を活かす役割分担が重要となる。例えば、身体的負担の大きい作業やデータ処理はロボットが、患者との対話や複雑な判断は人間が担当する。同時に、ロボット技術の信頼性と安全性の確保、使用ガイドラインの作成、医療従事者への AI 教育も推進することで、サービスの質的向上と効率化、医療過誤のリスク軽減が期待できる。

結論として、ロボットは人間を支援する存在で、最終的な判断や責任は人間が持つといった協働体制が重要である。人間本来の価値を守りつつ、技術革新でサービスの質の向上と効率化を目指すことが、持続可能な医療・介護体制の構築につながる。(599 字)

問題2 アドミッションポリシーとの関連

- ① 専門職に関心を持ち、必要な科学的知識・技術の習得および探求に意欲のある者
- ② 高い専門的知識・技能の習得に必要な基礎的学力を備えている者
3. 他者とよい人間関係を作るためのコミュニケーション能力を備えている者
4. 常に社会の変化に関心を持ち、専門職として社会に貢献する意欲のある者
5. 多様な価値観を尊重できる者
- ⑥ 論理的に思考し表現・行動できる者

作題意図

医療技術者としてデータを読み解くことは非常に重要です。この問題は死因から二つの国の保健医療や社会情勢を推測することを問題としました。2つの国から同じ死因を取り除き、残った死因を下にある注)を読むことで病気の概略をとらえることができると思います。A国は平均寿命が男女ともに長く「老衰」が3位に上がっています。そこからすでに高齢を原因とするところに気が付くかと思います。B国はCOVID-19感染症の死亡者が上位に来るとするのは、予防ワクチンの接種、治療などがうまくできなかったのではないかという推測ができるかと思います。

このように専門職に関心を持ち、必要な科学的知識・技術の習得及び探求に意欲のある者(アドミッションポリシー①)を選出することを念頭に置き、多くの情報の中から真に必要なものを抽出できる力(読み取り力)、さらにはそれをわかりやすく他者に伝える力(表現力)をみていきたいと思っております(アドミッションポリシー②、⑥)。

着眼点

- 1) 表より二つの国の違いを見つけることができる。
- 2) 注)よりそれぞれの国の死因の特徴を読み取ることができる。必要項目を的確に表現できる。

採点基準 100点

- 1) 情報収集力・分析力：20点
- 2) 論理的思考：20点
- 3) 文章力：20点
- 4) 俯瞰する力：20点
- 5) 想像力・表現力：20点

*別に示すルーブリックの基準を用いる。

模範解答例

A国はB国より平均寿命で男女とも約8年ほど長い。共通する死因は悪性新生物・心臓病・脳卒中・アルツハイマー型認知症などである。両国の死因の違いを見ていくと、A国は3位の老衰や6位の誤嚥性肺炎など、老化による身体機能の低下を原因とするものが多い。これは高齢になるまでは健康である人が多いということでもある。一方、B国は4位にCOVID-19があがっていた。COVID-19は世界中に広がった感染症であったが、A国の死因の上位には出ていない。また、B国では糖尿病が8位であったが、A国にはあがっていなかった。このことからB国はA国に比べて、ワクチン接種などの予防や、糖尿病の治療などに課題があることが推測された。

また、B国6位の慢性閉そく性肺疾患などはタバコ煙が原因となることから、B国ではA国に比べて、社会全体にタバコの有害性が認識されていない可能性がある。加えて医療事情には直結しないが、B国の3位の不慮の事故は様々な推測ができる。しかし、A国の死因の上位に不慮の事故が上がっていないことを考えると、B国には市街地の交通事情や社会生活上の安全管理など、解決されていない社会的な問題がたくさんあるのではないかと思われる。

つまり、A国は医療のみならず保健行動、および社会管理も高い水準にあり、これが平均寿命の長さにつながっている。一方、B国は、保健行動や社会全体の安全管理に課題があるのではないかと考える。

586文字